FUJITSU Software NetCOBOL 機能一覧 Windows (32bit)

開発環境製品 2

運用環境製品 5

クライアント運用環境製品 5

サーバ運用環境製品 5

Copyright 2022 FUJITSU LIMITED

開発環境製品

コンポーネント名	機能名			Base Edition	Standard Edition	Professional Edition	Enterprise Edition
NetCOBOL	COBOL 開発環境(注 1-1)	NetCOBOL Studio (注 1-2)		○	○	○	○
		プロジェクトマネージャ		○	○	○	○
	リモート開発	NetCOBOL Studio	[ターゲット] Windows (64bit) Linux (64bit) Solaris (64bit) Solaris (32bit)	○	○	○	○
		プロジェクトマネージャ (注 1-3)	[ターゲット] Linux (32bit) Solaris (32bit)	○	○	○	○
	OSIV 分散開発 (注 1-4)			×	×	○	○
	コンパイラ			○	○	○	○
	デバッガ			○	○	○	○
	32 ビットアプリケーション作成 (注 1-6)			○	○	○	○
	データベース(注 1-6)			○	○	○	○
	Interstage Business Application Server 連携			×	×	×	○
PowerCOBOL (注 1-8)	Windows 専用 GUI ビルダ			○	○	○	○
FORM (FORM オーバーレイオプション)	画面、帳票設計支援			×	○	○	○
MeFt (注 1-6)	画面、帳票の運用環境			×	○	○	○
	帳票の電子化			×	○	○	○
MeFt/Web (注 1-6)(注 1-7)	Web アプリケーション構築支援			×	○	○	○
ファウンデーションクラス (注 1-6)	Java 連携(J アダプタークラスジェネレータ)(注 1-5)			×	○	○	○
SIMPLIA/COBOL 支援キット	テストデータ作成支援			×	×	○	○
	ドキュメント作成支援			×	×	○	○
	プラットフォーム間の移行支援			×	×	○	○
	開発規模の計測			×	×	○	○
PowerSORT (注 1-6)	高性能データ・ソートマージ			×	×	×	○

Copyright 2022 FUJITSU LIMITED

V11.0 から PowerGEM Plus は同梱されません。

注 1-1) NetCOBOL V12 / V12a では、NetCOBOL Studio とプロジェクトマネージャの 2 つの開発環境を提供していますが、今後は NetCOBOL Studio のみのエンハンスとなります。プロジェクトマネージャは将来の NetCOBOL リリースで提供を終了する予定です。「NetCOBOL Studio ユーザーズガイド」に記載の移行情報に従い、NetCOBOL Studio への移行をお願いします。
なお、以下についてはプロジェクトマネージャではサポートされていません。

- Unicode で作成した COBOL ソースファイルおよび登録集の利用
- IPv6 環境でのリモート開発
- 日本語ロケール以外の環境での利用

また、以下の OS ではプロジェクトマネージャはサポートされていません。

- Windows 11
- Windows Server 2022
- Windows Server 2019

注 1-2) NetCOBOL Studio を使用する上で以下をご確認ください。

- NetCOBOL V11a および V12a 以降では、NetCOBOL Studio を使用する前にあらかじめ Adoptium が提供する OpenJDK 8 の Windows(x86)用 JRE をお客様が入手してインストールしていただく必要があります。
- NetCOBOL Studio V11 以前で作成したワークスペースおよび COBOL プロジェクトは、 V12 / V12a でオープンすると、V12 用のワークスペースおよび COBOL プロジェクトに自動変換されます。変換後の V12 用のワークスペースおよび COBOL プロジェクトは、NetCOBOL Studio V11 以前では利用できません。
  なお、V11.0.1 以前の NetCOBOL Studio で作成したワークスペースをオープンする場合には、ワークスペースを アップグレードするかどうかを確認するメッセージが表示されます。この場合は、[はい]をクリックしてワークスペース をアップグレードしてください。

注 1-3) ターゲット側の製品は、Professional Edition または Enterprise Edition のみ利用できます。

注 1-4) V11.0 以降では、NetCOBOL Studio でも機能を提供しています。

注 1-5) Windows(32bit)版の JDK/JRE が別途必要です。
富士通製 JDK/JRE は、Interstage Application Server または Interstage Studio に同梱されています。
Oracle 製 JDK/JRE は、Oracle 社 Java SE のダウンロードページから入手できます。

Copyright 2022 FUJITSU LIMITED

アダプタクラスの生成および翻訳で使用する JDK とアダプタクラスの実行で使用する JRE は、バージョンを合わせてご利用ください。

注 1-6) 運用時は、32bit の運用環境製品が必要となります。

注 1-7) MeFt/Web アプリケーションの利用時には、以下のソフトウェアが必須です。

- サーバ側

  Microsoft Internet Information Server 7.5 以降

  クライアント側

  - Microsoft Edge (IE モード)

  以下の OS での利用が前提となります。

  ○ Windows 11

  ○ Windows 10

  Windows 11 での利用は、NetCOBOL V12a (V12.2.0) 以降となります。

  - Microsoft Internet Explorer 11 (32bit 版)

  ※32bit 版のデスクトップ用 Internet Explorer での利用が可能です。

  また、以下の OS での利用が前提となります。

  ○ Windows 8.1

  ※2022 年 6 月 16 日で Windows 10 における Internet Explorer のサポートは終了しました。

注 1-8) NetCOBOL V12 / V12a では、PowerCOBOL を提供していますが、将来 Microsoft から提供される OS については非サポートとなる可能性があります。

Copyright 2022 FUJITSU LIMITED

運用環境製品

アプリケーションを、クライアント上で運用する場合には「クライアント運用環境製品」を、サーバ上で運用する場合は「サーバ運用環境製品」をご利用ください。各製品の動作環境については、動作環境を参照してください。

クライアント運用環境製品

コンポーネント名	機能名	Base Edition	Standard Edition
NetCOBOL	32 ビットアプリケーション	○	○
	データベース	○	○
	診断機能	○	○
	PowerCOBOL	○	○
MeFt	画面、帳票の運用環境	×	○

サーバ運用環境製品

コンポーネント名	機能名	Base Edition	Standard Edition	Enterprise Edition
NetCOBOL	32 ビットアプリケーション	○	○	○
	データベース	○	○	○
	診断機能	○	○	○
	PowerCOBOL	○	○	○
	Interstage Business Application Server 連携	×	×	○
MeFt	画面、帳票の運用環境	×	○	○
	帳票の電子化	×	○	○
MeFt/Web(注 2-1)	Web アプリケーション構築支援	×	○	○
ファウンデーションクラス	Java 連携 (J アダプタークラスジェネレータ)(注 2-2)	×	○	○
PowerSORT	高性能データ・ソートマージ	×	×	○

Copyright 2022 FUJITSU LIMITED

注 2-1) MeFt/Web アプリケーションの利用時には、以下のソフトウェアが必須です。

- サーバ側

  Microsoft Internet Information Server 7.5 以降

  クライアント側

  - Microsoft Edge (IE モード)

  以下の OS での利用が前提となります。

  ○ Windows 11 (*)

  ○ Windows 10

  * : Windows 11 は V12a (V12.2.0) 以降の対応です。

  - Microsoft Internet Explorer 11 (32bit 版)

  ※32bit 版のデスクトップ用 Internet Explorer での利用が可能です。

  また、以下の OS での利用が前提となります。

  ○ Windows 8.1

  ※2022 年 6 月 16 日で Windows 10 における Internet Explorer のサポートは終了しました。

注 2-2) Windows(32bit)版の JRE が別途必要です。

富士通製 JRE は、Interstage Application Server または Interstage Studio に同梱されています。

Oracle 製 JRE は、Oracle 社 Java SE のダウンロードページから入手できます。

アダプタクラスの生成および翻訳で使用する JDK とアダプタクラスの実行で使用する JRE は、バージョンを合わせてご利用ください。

Copyright 2022 FUJITSU LIMITED